

記事詳細

[記事一覧に戻る](#)

桜島爆発防災訓練 (2015/01/10 6面)

鹿工生が初参加 / 土のう作りを体験



今回の防災訓練には、鹿児島工業高校建設技術系の2年生37人が初めて参加。防災訓練活動の見学のみならず、土のう作りや土のう積み体験＝写真などを通して、防災意識の高揚と建設業における社会的役割を学んだ。

冒頭、川畑支部長が全国各地で発生している自然災害に触れ、「災害被害の応急・復旧は建設業が果たすべき社会的使命の一つ」と説明。

生徒らは8班編成に分かれ、土のう作りや釜段工実演、火山災害のパネル学習、ロープワークなどをローテーションしながら効率よく実施。特に土のう作りでは、土砂入れから袋抑え口止めを行い、一輪車で運搬して釜段工による土のう積みするまでの一連を体験した。

引率の榎山信人教諭は「防災訓練をはじめ、土のう作りなどは授業では体験できない。子供たちにとっても貴重な体験となった」と話した。

終了後は、レインポ一桜島に場所を移して意見交換を行い、生徒たちからは感謝の言葉が多く聞かれた。川畑支部長は「普段目にしない建設業の一面を見て何か感じてもらえたのでは」と話し、「将来の進路の選択肢として役立ててもらえたらうれしい」と述べた。

[更新:2015/01/13 No:666270]